



## Friday Night Science

### 大学生のための自然史講座

# 博物館と自然史と生物多様性

国立科学博物館における研究の成果に加え、  
近年の生物多様性研究の知見を交えながら  
日本列島の自然、自然史について様々な角度から  
体系的に理解できる講座です。



## 平成 29 年度受講者の声 (一部抜粋)

今実際に研究されていることを話されていて、先生方の生き生きとした研究姿勢からもその分野の面白さを伝えてもらった。日々から専門外の人(ディスカバリートーク等)に話しているからか、非常にわかりやすかった。

ふつう手にふれて見ることでできない標本等に出逢えてよかった。

毎回の授業に対して、私は専門外でありましたが、全ての授業に対して興味を持ってました。

それぞれの分野の最先端の研究成果を知ることができた。科博の展示にむすびつけて理解ができた。よりふかく展示を理解できた。さらに展示をとおして勉強が発展していくのがよい。大学では味わえない、博物館ならではの講座だった。

教えてくれる内容もおもしろかったが、それ以上に話す人の人柄がにじみ出ている講義がおもしろかった。

**対 象**：主に大学生・院生・専門学校生（一般の方も受講いただけます）

**会 場**：国立科学博物館（上野地区）

**開講期間**：平成 30 年 5 月～ 12 月まで

原則第 1・3 金曜日の 18：00～19：30

**募集人数**：40 名程度

**受 講 料**：30,860 円\*大学パートナーシップ入会校の学生は 15,430 円

\*この講座は 15 回の連続講座です。1 回単位での受講はできません。

### ★「大学パートナーシップって何？」

「私 / 僕の大学はパートナーシップに入っているのかわからない」

そんなときは、こちらで一覧をご確認下さい。

また、下記の国立科学博物館 HP でもご確認いただけます。

<http://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/01.html>

\*入会校は、随時更新されます。



### お申し込み・お問い合わせ先

国立科学博物館 事業推進部 学習課

【国立科学博物館 大学パートナーシップ】担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9876 FAX：03-5814-9898 E-mail：upartner@kahaku.go.jp

## 受講までの流れ

### ① お申込み

下記の情報をご記入の上、E-mail でお申込み下さい。

【件名】『大学生のための自然史講座受講申込み』

①住所(郵便番号ふくむ) ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④電話番号

⑤メールアドレス ⑥学校名 ⑦学部・専攻

※⑥・⑦は現役学生のみ。

※頂いた個人情報は、本講座に付随する目的のみに使用いたします。

申込み締め切り：**平成 30 年 4 月 26 日(木) 必着**

### ② 受講者決定

受講決定者には、4 月 27 日(金) までに、受講の可否をお知らせいたします。

応募者多数の場合には、「大学パートナーシップ」入会校の学生を優先させていただきます。あらかじめご了承ください。

### ③ 受講料のお支払い

受講料のお支払いなど詳細は、受講決定通知と共にご案内いたします。



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

# National Museum of Nature and Science

## Friday Night Science

### 大学生のための自然史講座

### 博物館と自然史と生物多様性



# Curriculum カリキュラム

※カリキュラムは変更することがあります。

## 第1回 5月11日(金)

茨城県自然博物館 館長 **横山 一己**

【自然史とは何か?】

～自然博物館と普及活動～

自然博物館は、常設展示での見学以外に色々な普及活動があります。特別展や企画展だけでなく、講演会、ギャラリートーク、観察会なども行われます。県の博物館では、県内をカバーする目的で移動博物館も行われています。特別展や企画展を中心にどのよう普及活動が実行されているのかを紹介します。

## 第2回 5月25日(金)

理化学グループグループ長 **米田 成一**

【宇宙・太陽系・地球の誕生】

～太陽系誕生から惑星の形成まで～

私たちの太陽系や地球は約46億年前、銀河系の中のスダレ雲から生まれました。隕石等の宇宙物質の研究により、その年代を100万年以内の精度で求めることができるようになってきました。本講義では隕石資料を紹介しながら、その精密年代測定によって明らかになってきた太陽系の誕生と惑星形成までの初期進化を解説します。

## 第3回 6月1日(金)

鉱物科学研究グループ 研究主幹 **堤 之恭**

【日本の地質・鉱物について】

～日本列島はどのようにしてできたのか?～

日本列島の骨格がプレートの沈み込みにより形成される「付加体」から成っている事は、今や定説となっています。しかし、それらが如何なる構造をもってその骨組みを成しているかに関しては、これまで様々な説が提案されてきました。本講義では付加体の話を中心に、日本列島がどのようにして形成されたのかを、新知見を交えて解説します。

## 第4回 6月15日(金)

生命進化研究グループグループ長 **甲能 直樹**

【日本列島の生い立ち I】

～私達の祖先は古生代に遡る!?～

私達哺乳類の究極の祖先は、古生代石炭紀後期(およそ3億年前)に誕生し、中生代白亜紀前期(およそ1億千万年前)になって真の哺乳類が現れます。まだ日本列島が誕生していないこの時代の「日本列島」にもこうした「哺乳類」が生息していたことを、この時代の地球環境変動史に照らしながら紹介します。

## 第5回 7月6日(金)

環境変動史研究グループ 研究員 **芳賀 拓真**

【日本列島の生い立ち II】

～新生代の環境変動と生物の応答～

およそ6,600万年前の大量絶滅イベントから回復した生物たちは、全球的な寒冷化などさまざまな地球環境の変化に対応しながら、現在みられる生物相を形成してきました。本講義では貝化石を主軸として、いくつかの重要なトピックスをとりあげつつ、新生代の日本列島における環境と生物の変遷を概説します。

## 第6回 7月20日(金)

海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹 **長谷川 和範**

【日本の動物の多様性 I】

～海産無脊椎動物の多様性～

南北に長い日本列島は、それを取り巻く海についても亜寒帯から亜熱帯まで多様な環境に富んでいます。黒潮と親潮を中心とした海流の影響や、地理的な特徴により、独特の生物相が形成されています。このような日本周辺の海にすむ多様な無脊椎動物の分布の特徴や成り立ちについて、貝類を例に概説します。

## 第7回 8月3日(金)

陸上植物研究グループ 研究主幹 **秋山 忍**

【日本の植物の多様性 I】

～日本の種子植物～

日本列島は種子植物の種の多様性が高い地域として知られています。日本の種子植物の多様性を概説するとともに、欧米から近代植物学を受け入れる以前に日本で発達した本草学を紹介し、日本人が植物をどのように捉え、認識してきたか、また、それが今日の植物分類学からみたとときに、どのようなものであるかについて種子植物を中心に紹介します。

## 第8回 9月7日(金)

脊椎動物研究グループグループ長 **濱尾 章二**

【日本の動物の多様性 II】

～多様性を生み出す原動力～

環境への適応、進化が多様性を生み出します。島国日本では、島によって異なる環境に適応したさまざまな生物の姿を見ることが出来ます。演者自身の研究成果から、各種鳥類の生態を紹介し、解説します。「自然淘汰」「性淘汰」「生物間相互作用」をキーワードに、一般的な進化のメカニズムを理解することにも力を入れます。

## 第9回 9月21日(金)

陸生無脊椎動物研究グループ 研究主幹 **神保 宇嗣**

【日本の動物の多様性 III】

～昆虫からみる日本の生物多様性～

昆虫は、生物の中でもとりわけ多様に分化したグループとして知られ、南北に長い日本列島からは数万種の昆虫がこれまでに知られています。本講義では日本の昆虫類相について、チョウ・ガ類を中心にいくつかの視点から紹介します。また、昆虫の衰亡の現状や、保全に必要な情報蓄積や博物館資料の役割にも触れます。

## 第10回 10月5日(金)

菌類・藻類研究グループグループ長 **細矢 剛**

【日本の植物の多様性 II】

～菌類の生物学的多様性と文化～

菌類はカビ・きのこ・酵母のことで、日本には1万種を超える菌類が生息しています。世界および日本には、どのような菌類があるのか、また人間はこれらの菌類とどのように関わってきたのか、様々な例を紹介いたします。

## 第11回 10月19日(金)

多様性解析・保全グループ 研究員 **村井 良徳**

【日本の植物の多様性 III】

～日本の高山植物の多様性～

日本列島には多種多様な植物が分布していますが、標高が高く植物の生存には一見厳しいような環境にも、高山植物と総称される様々な植物が生息しています。そのなかには、国内の一部の山域でしか見ることのできない固有種なども多く存在します。高山植物がたどってきた道のりや、形態や生態的な特徴などを紹介します。

## 第12回 11月2日(金)

人類史研究グループグループ長 **海部 陽介**

【日本人の形成 I】

～日本列島にやってきた人々～

最初の日本列島人とはどのような人々で、いつ、どこから、どうやってここへやってきたのでしょうか。その後、新たな移入がどれだけあったのでしょうか。そして彼らは、どのような変化を経て、現代の日本人になったのでしょうか。遺跡から出土する人骨の形態と、考古遺物の研究から復元される、日本人の起源について概説します。

## 第13回 11月16日(金)

人類史研究グループ 研究員 **神澤 秀明**

【日本人の形成 II】

～DNAからみた日本人の起源と成立～

ヒトのDNA研究は、人類の歴史を明らかにするために必要な手法のひとつです。アフリカから世界中に拡散したホモ・サピエンスが、どのようなルートで日本列島に到達し、時代を経て現代の日本人となったのでしょうか。本講義ではDNAからそのシナリオを描き、日本人の起源と成立について解説します。

## 第14回 11月30日(金)

沖縄大学 人文学部 こども文化学科 教授 **盛口 満**

【様々な生物と日本人】

～昆虫と人との関わり～

現代のこども、若者たちは、昆虫に対してどのようなイメージを持っているのかを入り口としながら、沖縄を中心とした、地方では、かつてどのように昆虫をとらえていたかを紹介し、また、それら身近な昆虫の実像も見ていきます。

## 第15回 12月14日(金)

植物研究部長 **樋口 正信**

【自然史科学と研究者】

～自然史科学の研究者になるために～

自然史科学の研究者をいろいろな角度から考えます。「研究者は何をしているのか、何をしなければいけないのか、何を目標としているのか」、「どうしたら研究者になれるのか、何が求められるのか、適性はあるのか」、「大学と博物館の研究者はどこが違うのか」、「研究者のモラルとは」